

平成 27 年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進事業)

事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村名【 安芸高田市 】
平成27年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制</p> <p>安芸高田市は、特定非営利活動法人安芸高田市国際交流協会と多文化共生に関する業務委託を行い実施した。</p> <p>NPO法人安芸高田市国際交流協会は、理事8名会員数40人程度の規模で、国際交流事業や多文化共生推進事業を中心に活動しされている。日本語学習支援や子ども学習支援をこれまでも実施されてきた経験を踏まえ、日本語、ポルトガル語と学習支援をおこなった。</p>
<p>2. 具体的取組内容</p> <p>●委託業務名 平成27年度安芸高田市多文化共生事業推進業務</p> <p>●委託金額 1,883,520円(内消費税額 139,520円)※変更契約予定金額</p> <p>●委託期間 平成27年5月1日～平成28年3月31日</p> <p>●細部の業務内容 ①多文化共生啓発事業(ISO26000推進事業)②外国人のルーツを持つ児童生徒の日本語及び学習支援事業(児童生徒日本語及び学習支援事業)③多文化共生のための人材育成事業(外国人留学生ホームステイ受入トライアル事業)④安芸高田市国際交流イベント事業(定住外国人の子ども交流事業)</p> <p>●上記に掲げる業務内容の中で、②について当該補助事業に該当する。</p> <p>●授業の実施状況</p> <p>毎週月曜～土曜日、</p> <p>時間帯(基本時間) 10:00～11:00、16:00～17:00、17:30～18:30</p> <p>場所(基本場所) ⇒八千代、向原、吉田、高宮、甲田、美土里、(日本語) ・ 高宮(ポルトガル語)</p> <p>●指導員 5名体制で各会場にて日本語、母語(ポルトガル語)、学習支援のための教室を開催し、1時間～2時間程度日本語学習支援中心に学習を行った。</p> <p>●対象人数⇒7～12歳 9名 13～15歳 2名 16～18歳以上 3名</p>
<p>3. 成果と課題</p> <p>●成果⇒1人ひとりに対して学習支援が強化できた。日本語学習支援者、国際交流協会、教育委員会、学校との協働の関係が構築された。</p> <p>●課題⇒継続支援が必要。学習支援者の確保が大きな課題それに関連する、支援後継者の育成、外国人の保護者(親)の方に「子どもの教育」に対して関心を持ってもらう。また、「教育」の大切さを認識してもらうための継続した課題。日本で生まれ育った外国籍の子どもに対する、母語教育の必要性と継続実施。</p>
<p>4. その他(今後の取組等)</p> <p>●学校の授業に興味を持たせる日本語能力の習得、不就学の子どもについては、日本語及び一般教養の学習支援を継続し、子ども支援を行うよう計画している。その結果、将来の地域社会への参画できる力を保障したい。</p> <p>●</p>

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。)